

令和 3年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	平林 晶
全体計画						経費区分		-		内線	3254
事務事業名	4126 ごみ減量・再資源化事業										
所 属	121000 市民環境部・生活環境課										
施 策	13011200 循環型社会の形成と環境衛生施設の適切な管理										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	040105 衛生費・保健衛生費・環境衛生費									
	事業	030000 ごみ減量・再資源化事業									
事業目的						事業概要・効果					
ごみの減量・リサイクルを推進し、循環型社会の形成を目指すとともに、不法投棄の防止対策を図る。						ごみの減量・リサイクルを推進することにより、循環型社会の形成を目指し、ごみ処理費用の削減を図る。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
「生ごみ出しません袋」の無料配付、資源物の拠点回収、家庭用生ごみ堆肥化処理容器購入費の補助、生ごみ堆肥化講習会等を実施し、ごみの減量、資源化に努める。また、不法投棄を防止するため、パトロール等を実施する。	分別回収、資源物拠点回収、生ごみ堆肥化処理容器・処理機購入費補助金の交付、資源回収報償金の交付等を実施し、ごみの減量、資源化に努める。また、不法投棄を防止するため、パトロール等を実施する。
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	一人一日当たりのごみの排出量						
算式						単位	g
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	745					
	実績						
指標選定の理由	総合計画の目標値						
最終年度目標の根拠	総合計画の目標値						
指標名	マイバッグの持参率						
算式						単位	%
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	76					
	実績						
指標選定の理由	総合計画の目標値						
最終年度目標の根拠	総合計画の目標値						
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和2年度 決 算	令和3年度 予 算
事業費		54,784	61,964
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	31,544	51,066
一般財源		23,240	10,898
人員数(人)	正規職員	1.3	1.4
	嘱託職員	1.5	1.5
	臨時職員	0.2	0.2
人員コスト	正規職員	9,058.4	9,755.2
	嘱託職員	4,723.5	4,723.5
	臨時職員	335.6	335.6
	計	14,117.5	14,814.3
市民一人当たりの経費		1.3	1.5
総額		68,901.5	76,778.3

(単位：千円)

令和2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	3,091	資源回収報償金3,011、謝礼80
10節 需用費	2,999	消耗品費1,485、燃料費179、印刷製本費1,229、修繕料106
12節 委託費	36,596	資源物収集25,135、家庭用選定枝資源化6,367、蛍光管リサイクル処理516、環境指導業務2,043、資源物拠点収集立会等1,274
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	786	ごみ集積施設・設備整備補助金100、家庭用生ごみ堆肥化処理容器購入費補助金80、生ごみ処理機購入費補助金550
その他	11,312	役務費(郵便料、電話料、手数料、保険料)3,585、使用料及び賃借料(機器賃借料)11、公課費(自動車重量税)31 ほか

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	5,080	資源回収報償金5,000、謝礼80
10節 需用費	3,808	消耗品費1,464、燃料費268、印刷製本費1,966、修繕料110
12節 委託費	39,275	資源物収集26,500、家庭用選定枝資源化7,500、蛍光管リサイクル処理650、環境指導業務2,058、資源物拠点収集立会等2,567
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	1,075	ごみ集積施設・設備整備補助金350、家庭用生ごみ堆肥化処理容器購入費補助金125、生ごみ処理機購入費補助金600
その他	12,726	役務費(郵便料、電話料、手数料、保険料)3,906、使用料及び賃借料61(機器賃借料)、公課費(自動車重量税)32 ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果(施策の目指す理想)に結びついているか 	普通
評価コメント	法律に基づく市が主体となり実施すべき事業を実施した	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	市民生活上必要なごみ処理が実施できた	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	収集車両を必要最小限に抑えるなど効率性向上に努めている	

振り返り(決算年度の取組み課題)

市民生活上必要なごみ処理が実施できた。資源循環のための市の役割が実施できた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>「第三次環境基本計画」及び「須坂市一般廃棄物処理基本計画」に基づき、「リフューズ」、「リデュース」、「リユース」、「リサイクル」の推進や「リペア」、「アップサイクル」推進の呼びかけ等の広報・周知努める必要がある。</p>		<p>ごみの減量・再資源化に対する市民一人一人の更なる意識改革が求められている。そのために、各種広報媒体を通じ周知・啓発に取り組む必要がある。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	